

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-224271(P2006-224271A)

【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2005-43280(P2005-43280)

【国際特許分類】

B 25 C 1/08 (2006.01)

【F I】

B 25 C 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジング内に設けられたシリンダと、

該シリンダ内に往復移動可能に支持されたピストンと、

前記シリンダに沿って往復移動可能で前記ピストンと共に燃焼室を形成する燃焼室枠と

、
前記ハウジングの下方に設けられ、被打込材への押圧時に移動可能で前記燃焼室枠と連結されたプッシュレバーと、

前記燃焼室内の混合気に点火する点火プラグと、

トリガレバーのオン操作によりオンされた時に前記点火プラグを動作させるスパークスイッチと、

前記燃焼室枠の外周に設けられた係合部と、

一端が前記係合部の移動軌跡に沿って設けられ、他端が前記スパークスイッチに対向する如く設けられたスイッチレバーとを有し、

前記トリガレバーが前記燃焼室が形成される前に操作された時に前記スイッチレバーの他端に接触してスイッチレバー他端が前記スパークスイッチに当接するのを阻止する部材を設けたことを特徴とする燃焼式釘打機。

【請求項2】

前記スイッチレバーの他端に接触して前記スイッチレバーの移動を阻止する部材を板バネにより構成したことを特徴とする請求項1記載の燃焼式釘打機。

【請求項3】

前記スイッチレバーの一端に板バネを設け、板バネを介して前記燃焼室枠の前記係合部に接触させることを特徴とした請求項1記載の燃焼式釘打機。

【請求項4】

前記スイッチレバーの他端は前記燃焼室が形成された後に前記スパークスイッチに接触するようにしたことを特徴とする請求項1記載の燃焼式釘打機。